

NEWS RELEASE

2021年12月8日

報道関係者 各位

やる気スイッチグループの「思考カラボ」× 春日井製菓
小学生が「やる気」をテーマにラムネ商品をプロデュース！
新『スイッチ ON タブレット』が 2022 年 3 月に発売決定

<https://www.yarukiswitch.jp/tpl/>

- ・「思考カラボ」の生徒が春日井製菓の『スイッチ ON タブレット』リニューアルプロジェクトに参画。
夏休みの4週間をかけて13名の小学生が考案
- ・『どうやってパッケージづくりをするのかを知れて面白かった』生徒が“本物”の商品プロデュースを体験
・来年3月発売予定、個包装まで「やる気」をふんだんに盛り込んだ商品に！

総合教育サービス事業の株式会社やる気スイッチグループ（東京・中央区、代表取締役社長：高橋 直司、以下、やる気スイッチグループ）と春日井製菓株式会社（愛知・名古屋市、代表取締役社長：春日井 大介、以下、春日井製菓）は、本日、やる気スイッチグループが展開する小学生向けの21世紀型スキル育成スクール「思考カラボ」に通う小学生と春日井製菓が共同企画した、2022年3月発売のラムネ商品『スイッチ ON タブレット』の新パッケージを発表しました。



▲ 『スイッチ ON タブレット』新パッケージ表面4種

この共同企画は、春日井製菓の『スイッチ ON タブレット』の商品リニューアルに際し、「スイッチ」を共通項として、やる気スイッチグループの思考カラボと春日井製菓がコラボレーションしたもので、春日井製菓は2020年に発売した当商品のリニューアルにあたり、最も喜ばせたい対象を、これからの未来を創る「子どもたち」に設定。目指すのは、勉強や遊

び、習いごとなどのさまざまなシーンで、やる気のスイッチを ON したい時に相棒となるような商品にすること。この春日井製菓のニーズに応えるべく思考を凝らしたのが、「思考カラボ」に通い、当プロジェクトに参加した、小学生 13 名です。

「思考カラボ」では、小学生が興味を持って取り組めるテーマを毎月設定し、無学年制のグループ形式でリサーチや議論、実地調査や検証、最終週には発表を行っています。テーマは、スポーツ・科学・経済・遊びなど多岐にわたり、幅広い視野や多様な考え方を養うもので、これまで扱ったテーマは「未来のお金はどうなる?」「食べること、食べもの」「歴史上の人物と街を作るなら?」など。今回のプロジェクトは、生徒が日ごろのレッスンで培った思考力を発揮・実践する場となり、商品開発プロデュースの「本物」を体験する機会にもなりました。

今回は夏休みの特別プログラムとして、小学 1 年生～6 年生までの男女 13 名がひと夏をかけて『スイッチ ON タブレット』の新パッケージをプロデュース。全 4 回のレッスンには、春日井製菓の社員もナビゲーターとして参加し、パッケージ案が練られました。ラムネの種類や市場の研究にはじまり、小売店でのパッケージ調査、オンライン工場見学、そして、生徒たちによるデザイナーへのパッケージ案のプレゼンテーション。生徒たちは、買い物に行く際に商品の陳列をチェックするようになるなど、回を重ねるごとに当プロジェクトの「やる気スイッチ」が入っていました。



▲当プロジェクトに参加した生徒 13 名と担当講師（左）、レッスン風景（右）

10 月には、生徒たちが春日井製菓の東京支店を訪問し、デザイナーからの決定案の発表、その決定までの過程の説明を受ける特別レッスンを実施。生徒たちがこだわった「やる気の出る色」や「ぶどう糖 95%」の強調などが採用される形となりました。さらに、ラムネの個包装には、子どもたちへのアンケートから選ばれた 37 通りの「やる気の出る言葉」がデザインされています。参加した生徒たちは、当プロジェクトを振り返り、「どうやってパッケージづくりをするのかを知れて面白かった」「デザイナーさんからの質問に答えたりするのは難しかったけれど、楽しかった!」と感想を話しており、商品プロデュースを通じての成長をのぞかせています。

思考カラボの責任者である株式会社やる気スイッチグループの松井 美樹は「子どもたちに“本物”を感じてもらいたい、というのが当プロジェクト参画の最大の目的でした。一人ひとりがパッケージのみならず、“どうしたら売れるか”まで考え抜き、チームでアイデアをまとめあげた過程で思考力が磨かれていきました。春日井製菓さんに“まるで社内会議のようだ”と言っただけしたのは、生徒たちの大きな励みになりました」と話しています。また、春日井製菓株式会社マーケティング部 部長 原 智彦氏は「好奇心に満ち溢れ、自由闊達な子どもたちとの共創は、我々メーカーにとって貴重な発見の連続でした。この商品を通して、家族や友達との間でクスっとした笑いを生んだり、がんばろうと思えるキッカケを増やせたらうれしいです」と語っています。

【『スイッチ ON タブレット』 商品概要】

- 商品名：スイッチ ON タブレット
- 発売日：2022年3月28日(月)
- 販売店舗：全国のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等を予定
- パッケージ種類：表面 全4種類



■ パッケージで採用となった生徒アイデア

表面：配色、題字制作

裏面：生徒が描いたイラスト、「やる気が出る言葉」

(裏面には、本プロジェクトの説明も掲載)

■ 個包装：ひとつずつに「やる気が出る言葉」を印字。全37種類。

ごくまれに自由に書き込める空欄版と「やる気を失う言葉」版が入っています。



「やる気が出る／失う言葉」は、当プロジェクト参加生徒13名および、やる気スイッチプレミアムクラブ会員へのアンケート調査にて収集。

例：「やればできるよ！がんばろう！」「未来の自分、待ってる」

▲パッケージ裏面(左)、個包装の一例(右)

以上

株式会社やる気スイッチグループ

やる気スイッチグループは、個別指導塾「スクールIE®」や知能育成(知育)と受験対策の幼児教室「チャイルド・アイズ®」、子ども向け英語・英会話スクール「WinBe®(ウィンビー)」、英語で預かる学童保育「Kids Duo®(キッズデュオ)」、幼児・小学生向けスポーツ教室「忍者ナイン®」、バイリンガル幼稚園「キッズデュオインターナショナル(KDI: Kids Duo International®)」「アイキッズスター(i Kids Star®)」の7つのスクールブランドを展開する総合教育サービス会社として、現在国内外でおよそ1,900以上の教室を展開し、11万人以上の子どもたちの学びをサポートしています。2020年には「プログラミング教育 HALLO powered by Playgram x やる気スイッチ™」「英語みらいラボ 能見台」「思考力ラボ」といった新しい学びのサービスを立ち上げました。

やる気スイッチグループは、一人ひとりが持つ"宝石"を見つけ、その無限の可能性を引き出すことで、世界中の子どもたちの夢と人生を応援します。公式サイト URL : <https://www.yarukiswitch.jp/>

やる気スイッチグループは、私たちと共に子どもたちの学びを支援していくフランチャイズオーナーを募集しています。フランチャイズオーナー募集サイト URL : <https://www.yarukiswitch.jp/fc/>

春日井製菓株式会社

1928年に愛知県名古屋市で創業し、現在はキャンディ、グミ、ラムネ、こんぺいとう、豆菓子など幅広い年齢層に支持される菓子を手掛ける菓子メーカー。主力商品として『黒あめ』『塩あめ』『キシリクリスタル』『つぶグミ』『グリーン豆』など。商品アイデアや業務改善など、年齢や部署を超えて全員が主体的に参加できる制度やワークスタイルを採っています。 <https://www.kasugai.co.jp/>

本件に関する報道関係のお問い合わせ

株式会社 やる気スイッチグループ

広報部：金沢・須田

TEL：03-6845-1203

Mail：t_kanazawa@ysg.co.jp, i_suda@ysg.co.jp